

拠出金名：世界保健機関拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(厚生労働省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				11,415,405千円	
国際機関等名	世界保健機関 (英文名称・略称) World Health Organization (WHO)				
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)	国連専門機関	その他
所管官庁担当局課名	厚生労働省大臣官房国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成19年度	1,236,560	10,660		1米ドル = 116円	61.8
平成18年度	1,183,260	10,660		1米ドル = 111円	63.9
平成17年度	1,140,620	10,660		1米ドル = 107円	63.9
当該拠出金の目的・用途等		感染症対策事業、母子保健事業、産業保健事業等のWHO事業			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年決算)	
	国 名	金額 (千米ドル)	率(%) (注)	当該年度の収入 5,428,400千米ドル	
1位	英国	189,073	23.6%	当該年度の支出 4,109,131千米ドル	
2位	米国	166,784	20.8%	次年度への繰越 1,319,269千米ドル	
3位	カナダ	68,977	8.6%	会計検査機関名	
4位	イタリア	54,730	6.8%	外部監査官(External Auditors)	
5位	ノルウェー	51,763	6.5%	Comptroller and Auditor General of India	
日本は7位、拠出率4.3%					
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
WHOは保健医療分野における指導的な専門機関であり、「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的とし、感染症対策をはじめとする疾病対策事業、保健分野の研究の促進、必須医薬品や食品保健などの基準づくり等の様々な事業を展開している。保健分野のミレニアム開発目標達成に向けた取り組み、新型インフルエンザ等の新興・再興感染症対策、途上国における保健衛生水準向上等の国際社会の喫緊の課題に対し、独自の専門分野で貢献していることは高く評価される。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
資源配分を各地域間において公平かつ最も必要性の高い国々に重点的に行うため、資源重視の運営から成果重視の運営へ移行している。 人事・会計等のバックオフィス機能を低賃金地域(マレーシア)に移すなどの合理化努力は評価できるが、我が国としては、今後もさらなる合理化・節約努力を求めていく。					
邦人職員数 うち幹部以上	38人 うち 3人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に占める率		1,938人 2.0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
西太平洋地域事務局長		尾身 茂			
事務局長補		中谷 比呂樹			
マラリア対策部長		古知 新			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
これまでWHOの重要ポストの獲得を実現しているが、今後とも、空席ポストの情報を鋭意収集し、当該ポストへの邦人職員の送り込みや昇進支援に努める。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考) この機関には厚生労働省の他、外務省予算から拠出している。